

指導事項を明確にした小学校国語科の授業づくり(11月)

国語科では「教材の内容を詳細に教えること」ではなく、「言葉で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」が大切です。

今月の指導のポイントは…

大事な言葉や文(文章)を選び出すこと

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
読むこと	エ 文章の中の 大事な言葉や文を書き抜くこと 。	エ 目的や必要に応じて 、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、 文章などを引用したり要約したりすること 。	イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。 カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと 。
教材	いろいろなふね(1年) ビーバーの大工事(2年)	もうどう犬の訓練(3年) くらしの中の和と洋(4年)	和の文化について調べよう(5年) 町の幸福論(6年)

「大事な言葉や文を選んで書き抜きましょう」と言われても、どれも大事な気がするので選べなくて困ります。

「大事な言葉や文」は、目的によって変わります！

目的を明確にしないまま、「何となく大切そう」な言葉や文を選ばせようとしていませんか？

今月、教室で使いたい一言

「知りたいことの答えになっている部分はどこですか」

昆虫の「体の特徴」を調べているわかかなさんの場合

「クサカゲロウの幼虫の**体の特徴**」だから、答えは**体の一部分**で、しかも**他の昆虫の体にはないもの**になるね。

クサカゲロウの幼虫の死がいをひっかけると、背中にかぎのようなものがあり、よく観察してみると、背中のクサカゲロウの幼虫の体は、のりかたまりに化けるのです。まんべんなくまぶし、ごみの体に他の昆虫の死がいを敵がおそってくると、自分おもしろい特徴があります。クサカゲロウの幼虫には、

昆虫の「身の守り方」を調べているだいすけさんの場合

「クサカゲロウの幼虫は**どうやって身を守るのか**」の答えになる部分だから…。

重要！

選ぶ言葉や文は、まずは少なく、短く！

選ぶのが困難な子供ほど、資料に傍線を長く、たくさん引く傾向があります。

傍線の数を限定したり、選んだ文の中で特に大切な言葉を○で囲ませたりするなど、大事な言葉や文を**厳選**できるような指導も必要ですね。

「選ぶこと」ができなければ、要約はできません！

①選ぶ

「どうやって身を守るか」だから…。

自分の体に他の昆虫の死がいをまんべんなくまぶし、**ごみのかたまりに化ける**のです。

②けずる

③つなぐ

※主語・述語等を補います

クサカゲロウは、ごみのかたまりに化けて**身を守ります**。